

会 報

83号



函館の歴史的風土を守る会  
会報編集部

発行所 函館の歴史的風土を守る会  
事務局 函館市五稜郭町43-9  
五稜郭タワー株式会社内  
電話 (0138) 5 1-4 7 8 5  
印刷所 (有)三和印刷 電話 45-0845

## 第32回 函館の町並みを美しくする 新春チャリティーパーティー終わる

今年度も表彰式・パーティーを無事終了することができました。中島実行委員長、山崎副実行委員長の協力もあり200名を超える表彰式、パーティーとなりました。また、毎年チャリティー商品を提供されている企業、個人の皆様には深くお礼申し上げます。

歴風文化賞は函館市から保存建築物2件、北斗市から再生保存建築物1件が受賞となりました。受賞建物の調査は毎年秋から冬にかけて行い、所有者の方にお話を伺っています。毎年思うのですが、所有の方からは先祖から伝わった貴重な建物を今後も守り続けて行こうという深い愛着の心が伝わってきます。ぜひ今後も末永く守り続け、函館圏の歴史的町並に貢献してほしいと願っています。

今後は函館市と合併した旧4町村の戸井、恵山、樞法華、南茅部地区にも注目していきたいと思っています。旧4町村には、歴史的な漁家住宅等がまだ多く残されていると思います。旧4町村の建物で歴史的な建築物がありましたら、事務局まで連絡いただけると幸いです。

保存建築物、再生保存建築物の建築年代については、およそ昭和10年以前で市の伝統的建築物・景観形成指定建築物に指定されていない建築物を対象に選考しています。原風景、団体等についても多くの推薦をお願いします。

パーティーは前年度実行委員長の辰村相談役の発案で、今年からチャリティービンゴを行いました。ビンゴカードも200枚以上売れ、多くの皆様にもれなく豪華景品？をお渡しすることができました。また対馬栄子さんの日舞、高橋順一さんの演奏、三択クイズ等大成功だったと思います。

来年度も皆様の御協力をよろしく御願いたします。

(対馬誠会員 記)



なごやかな会場風景

# 平成21年度 歴風文化賞（第27回）

## 原風景

＝宣言文＝

### 函館山ロープウェイ

函館市

函館山の山麓と山頂駅を結ぶ函館山ロープウェイ。

昭和33年、31人乗りのゴンドラにより運転開始、50余年にわたり函館山の四季折々の景色と一体になったロープウェイの姿は多くの人々に親しまれてきた。

現在は125人乗りのゴンドラから多くの市民、観光客が3分間の空中散歩を楽しみ、美しい景色、夜景を堪能している。

世界屈指の輸送人員を誇り、函館山の自然に融合している函館山ロープウェイは函館の原風景であることをここに宣言する。



## 保存建築物

### ㊦ 阿さ利本店

（あまきゅう あさりほんてん）

函館市宝来町10-11

土橋 弘樹 様

この建物は昭和9年に木造2階建、店舗兼住宅として建てられた純和風の建築物である。

当時の函館は大火により良質な材料が入手しにくいため、明治中期に青森県野辺地に建てられた由緒ある別荘を移築したものである。

1階は店舗と住居、2階には和室が8室配

置されている。2階の和室は「松の間」「竹の間」等があり、それぞれの室毎の装飾に松や竹の部材を用いる等、趣向を凝らした造りとなっている。

軸組には明治期のヒノキが使われているが、現在でも建物の狂いはほとんどなくしっかりとした造りである。

市街地にありながら、創建時の姿で大切にしっかりと保存されており、昭和初期における函館の店舗兼住宅の歴史を知る上で貴重な建築物である。

## 保存建築物

ものふみ  
物史 証 邸

函館市栄町11-15

物史 証 様

この建物は昭和11年に木造平屋建、専用住宅として建築された。

外観と玄関脇の応接間は洋風、他の6室は和室となっている。

外壁はドイツ壁と呼ばれる粒子の粗いモルタル仕上げであり重厚な雰囲気が漂っている。京都の住宅を再現したという和室は欄間、床の間等が創建時の美しい姿をそのままにとどめており、四季折々に移り変わる中庭の景色を窓越しに望むことができる。

明治中期に建てられた住宅に付属する瓦葺きの蔵は、明治から昭和の3回の大火に耐えて現在にその姿を伝えている。外観、室内とも創建当時の面影をしっかりと残しており、昭和初期の函館における住宅の歴史を知る上で貴重な建築物である。



## 再生保存建築物

おおむら どひひろ  
大村 俊博 邸

北斗市本町66

大村 俊博 様

この建物は昭和9年に木造2階建住宅として建てられた純和風の建築物である。

平成20年から21年にかけて外観、室内を創建当時の姿のままに蘇らせ、後世に伝える忠実な再生が行われた。

下見板張りと漆喰塗りの外壁、細部の意匠等、創建当初の雰囲気のまま美しくしっかりと

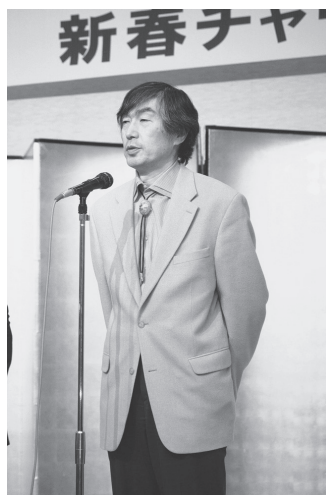
と再生されている。室内も居間と茶の間を囲む1枚ものの太いカツラの梁、手の込んだ作りの欄間や建具、囲炉裏、碁子（がいし）引きの配線等、昔の懐かしい雰囲気が漂っている。また敷地内には同時期に建てられた木造の蔵も現存している。

北斗市本町の中心部に位置しているが、創建当時の姿で再生保存され、北斗市における昭和初期の住宅の歴史を知る上で貴重な建築物である。



## 歴風文化賞選定基準

1. 建造物自体の貴重性
2. 持ち主が長年保存への努力を続けている
3. 景観への寄与
4. 歴史的性
5. 地域の町並みや社会全般への波及効果が大きい
6. 諸々の制約の中で創意工夫が顕著である



中島実行委員長



吉田市議会議長のあいさつ

## 実行委員長あいさつ

公立はこだて未来大学 学長  
実行委員長 中島秀之

私は兵庫県西宮で生まれ、東京の大学に通い、つくばで就職し、6年前に函館にやって来ました。どんどん東へ北へと流れて来た訳ですが、函館の発展に寄与した高田屋嘉兵衛と同じような場所で生まれ、同じ函館にやってきたことになります。不思議な縁を感じています。

この度、函館に数多く存在する歴史的建物や風景を表彰する会の実行委員長を仰せつかり、函館を愛する多くの方々と知り合えたのは大きな喜びです。新参者の私としてはまだ見たことのない建物も含まれているのですが、これを機に是非見学したいと思っています。

私は公立はこだて未来大学という「未来」を冠した大学に居ますから、ある意味で歴史とは逆の方向を向いて生活しています。しかしながら、最近未来大の先生がデジタル・アーカイブという、函館に大量に残っている絵画、写真やポスターなどの歴史的印刷物をデジタル化する仕事を始めたところ、これがとんでもない宝の山であり、函館の街起こしにも寄与しそうだということがわかって来ました。過去と未来は一体なのです。豊かな過去が豊かな未来を紡ぎだしています。

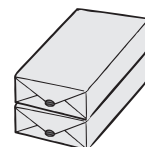
歴風会の今後のご活躍と、本日ご参加いただいた皆様の「未来」を期待してご挨拶の言葉としたいと思います。



歴風文化賞の表彰式



チャリティパーティのビンゴ商品のご提供  
ありがとうございました



第32回函館の町並みを美しくする新春チャリティーパーティーへの商品のご提供に御礼申し上げます。

函館山ロープウェイ、株式会社五島軒、北海道コカコーラボトリング株式会社、五稜郭タワー株式会社、リーヴズ・ハコダテ、函館トヨベツト株式会社、平野建業株式会社、潮産業株式会社、函館東興株式会社、オオタカ函館株式会社、株式会社元町マリンハウス、中島孝内科・循環器科医院、今整形外科、POPくらぶ、カメラのニセコ、しゃぶしゃぶ食べ放題 永楽、会田欣子、歴風会会員の皆様

(順不同・敬称略)

## 副実行委員長あいさつ

函館ハリストス正教会  
副実行委員長 山崎 瞳

第32回函館の町並みを美しくする新春チャリティーパーティー開催、おめでとうございます。

この度、ご縁があって「函館の歴史風土を守る会」の活動を身近に知ることとなりました。ホームページで会の趣旨や今までの活動を拝見させて頂いておりましたところ「函館ハリストス正教会」の文字が目に残りました。



山崎副実行委員長

1983年6月2日に国の重文の指定を受けたときと、1988年に大修復工事が完成したときの2回に渡り寄付を頂いております。直接、会の皆様の前でお礼を申し上げる機会に恵まれましたことを嬉しく思います。

私どもでは、現在「函館ハリストス正教会150年史」の編纂を行っている最中です。教会としての150年史であるとともに、函館という町の中のハリストス正教会という側面にもスポットをあてる予定です。皆様の中に何か資料となるようなものをお持ちの方がおられましたら、是非一声かけて下さると、大変幸甚に存じます。

また、2011年7月には、函館ハリストス正教会を会場として「亜使徒日本の大主教聖ニコライ渡来150年記念」の式典が日本ハリストス正教会教団の行事として行われます。

聖堂のある風景としましては、私個人的には雪に覆われた聖堂が一番美しいと思います。白一色の聖堂と境内の向こうに津軽海峡の紺青の海が見えます。また、夏の夕暮れ時、3つの教会がライトアップされて浮かび上がる景色は、この世のものとは思われないくらい幻想的です。

函館には、天地を創造された神に自ずと讃美を捧げたい風景がたくさんあります。また、守るべき歴史風土があります。「歴風会」の今後益々のご活躍、ご発展をお祈り申し上げます。

## 受賞者代表謝辞（第32回）

阿さ利本店 土橋 弘樹 様

受賞者を代表して挨拶をさせていただきます。

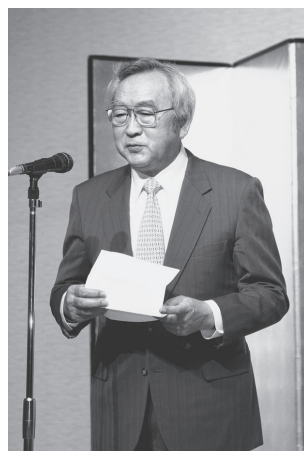
歴風文化賞の受賞と申しましても、私の建物は現役の店舗であり、且つ私共、息子、孫と三世帯が生活する居宅としても現役です。

今回の受賞を期に、あらためて昔の建物の良さを感じております。

昭和9年の大火で罹災した先代が、青森県の野辺地にあった、明治30年代に建築された資産家の別荘と桧材を購入して昭和9年10月に現店舗兼住宅が完成しました。以来76年間函館の街に根を張り続けてきました。後世に残すべく努力することを強く感じております。

今日、受賞の皆様、会場の皆様と共に、古い建物を現代と協調し、次代への架け橋となるべく大切に保存し肩肘張らず使用したいと考えております。

歴風会のますますのご活躍を祈念し謝辞とします。



土橋弘樹様

## 市長挨拶

函館市長 西尾 正範 様

（代読・函館市都市建設部 都市デザイン課長 秋元裕志）

本市の西部地区歴史的町並み基金に対しまして、本年も貴重な御寄附を賜り、厚くお礼申し上げます。

この基金への御寄附は今回で20回目となり、合わせて400万円を超え、町並み保全のための貴重な財源となっており、このチャリティー・パーティーを企画された「函館の歴史的風土を守る会」様と趣旨にご賛同くださった皆様の、これまでの御芳志に改めて感謝申し上げる次第でございます。

「継続は力なり」と申しますが、会員の皆様方の永きにわたる歴史的町並み保全への、たゆみない活動の積み重ねと成果は、函館の西部地区の町並みとともに、それを支えてきた人々の歴史として全国に誇れるものであると確信しており、昨年、函館市が地域ブランド調査で「最も魅力ある市町村」の第1位に選ばれたことも、このような皆様のご活動があつてこそと、心か

ら感謝申し上げる次第でございます。

また、本年におきましても、4月には「全国町並み保存連盟」の理事の方々をお迎えしての町並み研修会、そして6月には昨年に引き続き、市民対象の研修「見て、聴いて、考える町並み」を私どもとともに、実施して頂く予定となっており、創立から30年を経てなお、ますます積極的に活動される姿勢に心から敬意を表する次第でございます。

今後の町並み保全は、これまでの「まもり、そだて、つくる」に加え「発信する」ことが大切であろうかと思っております。市民へ、全国へ、そして世界へ函館の魅力を発信し続けるためにも、今後とも皆様とのパートナーシップをより強固にし、函館らしい個性豊かな都市景観の創出を図ってまいりたいと存じますので、一層の御理解と御支援を、お願い申し上げます。

第でございます。

結びにあたりまして、「函館の歴史的風土を守る会」様のさらなる御発展と、会員ならびに本日の御臨席の皆様のみすますの御健勝を祈念いたしましてお礼の御挨拶いたします。



市長の感謝状を受け取る

## 地域経済から見た弥生小学校

函館大学 准教授 西村 淳

弥生小学校が老朽化を理由に、現在取り壊されつつある。旧弥生小学校が函館の地域経済にとってどのような存在であるのかを考えてみたい。

函館の旧市街地の観光に来る人たちの移動パターンの多くは、最初に明治館やベイ函館に行き、次に旧公会堂や旧イギリス領事館、そして八幡坂を眺めながらハリストス正教会や元町カトリック教会に至り、最後にロープウェイで函館山に上がって函館山からの眺めを見て終了、という流れである。この流れは、いわゆる伝統的建造物群保存地区の中での移動のみで完結しているのである。その範囲は余りにも狭く、日程の多くは一泊二日程度となっているであろう。

ところで都市景観形成地域における伝統的建造物群保存地区は、広大な地域のほんの東側半分の地域でしかない。そして西側半分の地域は、住宅や蔵、企業の事務所や倉庫などがあり、明治から昭和にかけての函館の景観を残している。いわば観光地化されていない手つかずの魅力がある地域となっている。

この地域を楽しむには、ゆっくりと歩き回るのが最適であり、一泊二日程度の日程では消化出来ないのである。観光客の減少に悩んでいる今、これらの地域に目を向ける必要があるのではないだろうか。

魅力ある歴史的な建造物は、歴史を売りにする観光都市函館にとって必要な存在である。それら



小南武一が精魂込めた弥生小学校正面



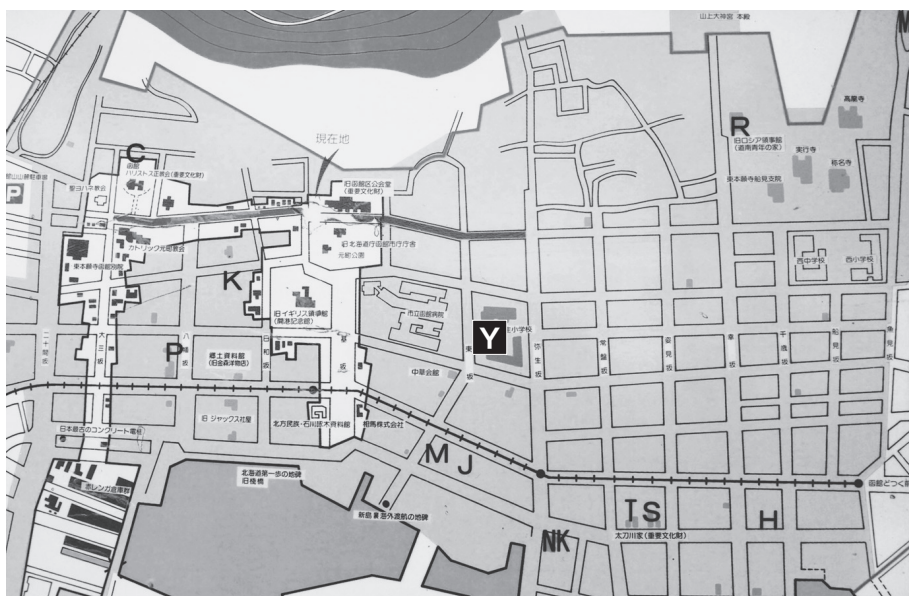
中世の教会を思わせる体育館の入口の梁



強固なアーチ状の梁の廊下

の建物で行われる経済活動が、他の経済活動にプラスに働く。たとえば弥生小学校の魅力的な外観は、観光客に西側の地域を歩かせる気持ちにさせ、宿泊数が多くなることから宿泊業の売り上げを増加させる。これを経済学では外部経済と呼ぶ。一方、工芸品を売る店舗があったり、夕日の眺めが美しい喫茶があったり、見知らぬ客同士が家族的な雰囲気になってしまう居酒屋がある、というように様々な異なった魅力を持った店舗が、ある地域に集まることによって発生するメリットを集積の経済という。お客にとってはいろいろ選択できるというメリットがあり、お店にとっても、ついでに寄ってもらえるというメリットがある。弥生小学校の西側に位置する地域の観光を振興するには、観光客の流れを西に持つことであり、弥生小学校や旧ロシア領事館、函館どっくの赤煉瓦倉庫の有効利用が重要であり、これらは外部経済と集積の経済を発生するであろう。

特に弥生小学校は、従来の観光地域である伝統的建造物群保存地区とその西側に位置する地域との結節点に立地しており、面積も大きく、存在感の大きな建物である。弥生小学校を壊してしまうと、重要な核を失うことになると思われる。



- |                      |                         |                 |
|----------------------|-------------------------|-----------------|
| <b>Y</b> 旧弥生小学校      | <b>R</b> 旧ロシア領事館        | <b>M</b> モストリー  |
| <b>J</b> コーヒーハウス・JOE | <b>NK</b> 旧西警察署         | <b>T</b> 太刀川カフェ |
| <b>S</b> 佐藤商会        | <b>H</b> 居酒屋はとば         | <b>K</b> 函館工芸舎  |
| <b>P</b> PEACE PIECE | <b>C</b> ガーデンハウスCHA CHA |                 |
| <b>MO</b> 喫茶モーリエ     | <b>U</b> ティールームタロ       |                 |

薄緑色で示された都市景観形成地域の中に黄色で示された伝統的建造物群保存地区がある。伝統的建造物群保存地区には重要文化財を含んだ歴史的建造物があり、これを伝統的建造物と呼んでいる。弥生小学校は都市景観形成地域にある。

# 第7回 ふるさと写真展 開催



第7回ふるさと写真展は函館市他計10団体の後援をいただき、去る2月12日より17日まで函館駅いかすホールで開催後、同21日より28日まで町づくりセンターで開催した。

1日平均約200人の観客が訪れた。

今年は204作品の応募があり2月14日午後会場で下記入賞者を表彰した。

## 《入賞者氏名》（敬称略）

- |        |               |                |                |                |
|--------|---------------|----------------|----------------|----------------|
| ▶銀賞    | 佐々木祐香(中の沢小5年) | 水澤 健太(高盛小3年)   | 久保 桃加(亀田小4年)   | 福原 貴博(ラサール中2年) |
|        | 水島 裕美(潮見中2年)  | 辻 彩華(附属中1年)    | 田島 朱莉(附属中1年)   |                |
| ▶銅賞    | 小野寺 駿(上磯小5年)  | 水島 久美(あさひ小3年)  | 青田 悠佑(柏野小5年)   | 木村 朱(東小5年)     |
|        | 田島 見(銭亀沢中3年)  | 石幡 智春(ラサール中3年) |                |                |
| ▶佳作    | 水島 久美(あさひ小3年) | 岩崎 優也(金堀小5年)   | 鈴木 岳流(東山小6年)   | 渋谷 凌(谷川小2年)    |
|        | 水澤 健太(高盛小3年)  | 大野耕太郎(ラサール中3年) | 武田 叡司(ラサール中2年) | 水島 裕美(潮見中2年)   |
|        | 岩瀬 涼香(附属中2年)  | 川井 柚葉(附属中1年)   |                |                |
| ▶交通局長賞 | 上山 竜史(北日吉小4年) |                |                |                |
| ▶歴風会長賞 | 窪田 海人(昭和小学3年) |                |                |                |

## 寄贈文献

- |                               |                            |
|-------------------------------|----------------------------|
| 「町並みかわら版」(No.49)              | 全国町並み保存連盟<br>函館理事会記事あり     |
| 「でんけん」(No.16)                 | 市教委                        |
| 「文化情報」(No.315)                | 北海道文化財保護協会<br>「歴風会」団体活動(5) |
| 「有松」(No.62)                   | 有松まちづくりの会                  |
| 「建築ジャーナル」(No.11)特派員レポート「函館支局」 |                            |
| 「函館の産業遺産」(No.14)              | 函館産業遺産研究会                  |
| 函館開港150周年記念事業 実施報告書           |                            |
|                               | 函館市・実行委員会                  |
| 第31回全国町並みゼミ「卯之町大会」報告書         | 2008                       |
| 開港5都市景観まちづくり会議2009 横浜大会報告書    |                            |
|                               | 横浜大会実行委員会                  |

## ※※ 編集後記 ※※

- ◇年2回の発行を今年こそ実行したい。
- ◇函館市の開港150周年記念事業に会として1年間参画出来た。
- ◇横浜市の開港五都市景観まちづくり会議に昨年のお礼もこめて、函館市より11名のメンバーが参加した。(2009. 9. 11～13)

- ◇全国町並み連盟の理事会を兼ねた“町並み見学会”が4月23日～25日、五島軒を中心に行われる。函館市都市建設部都市デザイン課の皆様には大変なお世話をいただいた。1人でも多くの会員の参加を望みたい。
- ◇今号の写真提供者、新城光正・林 功・築地晶二・八木橋直弘氏に感謝します。

(文責 落合治彦)